

2018年5月23日

各 位

不動産投資信託証券発行者  
日本ロジスティクスファンド投資法人  
代表者名 執行役員 棚橋 慶太  
(コード番号：8967)

資産運用会社  
三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 棚橋 慶太  
問い合わせ先 財務企画部次長 関口 亮太  
TEL.03-3238-7171

資産運用会社における運用ガイドラインの一部変更に関するお知らせ

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社である三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社（以下「資産運用会社」といいます。）は、2018年5月23日に取締役会を開催し、社内規程である運用ガイドラインの変更について下記の通り決議しましたのでお知らせします。

記

1. 運用ガイドラインの一部変更の内容

本投資法人では、物流施設の取得競争が過熱する中での取得機会の拡大を図るため、第三者との協同投資プロジェクトを実施する等、これまで様々な投資形態を採用してきました。かかる様々な投資形態への取組みを通じ、本投資法人が資産を賃借する形態での投資（借家案件）に関する考え方が整理されましたので、物流施設の権利関係に関する投資態度の一部を変更します。

なお、今回の運用ガイドラインの一部変更は、本投資法人の借家案件に関する従前の投資方針（投資態度）を整理し、「原則として対象外とするものの、内容と収益性、権利の安定性、将来の不動産取得の可能性を勘案し契約締結の判断をすること」と明確化するものであり、本投資法人の投資方針に実質的な変更はありません。

2. 変更日

2018年5月23日（水）

3. 今後の見通し

本件による本投資法人の2018年7月期（第26期）及び2019年1月期（第27期）における運用状況への影響はなく、運用状況の予想に変更はありません。

※本投資法人のウェブサイト <http://8967.jp/>

運用ガイドラインの変更内容（下線は変更部分）

変更前	変更後
<p>2. 投資方針 ②投資態度 (イ)取得方針 b. 重点評価項目 (vii) 権利関係  (中略) ・担保権・用益物権付着物件 物件取得に当たり当該不動産に付着している権利関係の完全な解消が可能なものに限 定して判断する。  (後略)</p>	<p>2. 投資方針 ②投資態度 (イ)取得方針 b. 重点評価項目 (vii) 権利関係  (中略) ・借家物件 <u>原則として対象外とするが、借家に係る賃貸 借契約の内容と収益性、権利の安定性、将来 の不動産取得の可能性を勘案して判断する。</u> ・担保権・用益物権付着物件 物件取得に当たり当該不動産に付着してい る権利関係の完全な解消が可能なものに限 定して判断する。  (後略)</p>